

## その言葉、真実か虚偽か。

### 初めに.....

F to Fは、ポーカーなどのテーブルゲームのように手軽に駆け引きを楽しめるゲームです。

8種類のカードを使い分け、誰よりも多くのチップを稼ぎましょう。

### ゲームの手順

- ①全てのプレイヤーに、それぞれ50枚のチップを配布します。
- ②カードをよくシャッフルし、1つの山札にした後、ラウンドを開始します。
- ③ラウンド終了時、所持チップが0以下のプレイヤーはゲームから抜けます。
- ④ラウンド終了後、残っているプレイヤーが一人でないならば、再度②以降の手順を繰り返します。

### ラウンドの手順

- ①全てのプレイヤーは5枚のチップを賭場に払います。
- ②ダイスなどで手番の順番を決め、それぞれ山札から5枚のカードを引いて手札とします。
- ③手番プレイヤーは、カードを1枚選びカードの種類を宣言したのち、表向きか裏向きで捨て札にします。このとき、宣言する種類は正確でなくても問題ありません。
- ④この時、カードを表向きで捨てたのなら、カードの効果が発動します。カードの指示に従ってください。
- ⑤プレイヤーがカードを裏向きで捨てた場合、他のプレイヤーはその宣言が「嘘」であることを宣言することができます。その宣言を行った場合、捨てたカードを表にします。その宣言が真実だった場合、「嘘である」と宣言したプレイヤーはチップを1枚カードを捨てたプレイヤーに支払います。嘘だった場合、捨てたプレイヤーは嘘であると宣言したプレイヤーにチップを1枚支払います。
- ⑥山札から5枚になるようカードを引き、手札に加えます。この時、カードが引けないようであれば、このラウンドは引き分けとなります。引き分けとなったとき、賭場にあるチップは残したまま、このラウンドは終了となります。
- ⑦手札に同色のaccordが5枚ある場合、勝利を宣言することができます。勝利者は賭場にあるチップを全て自分の者とします。勝利者が決定したら、このラウンドは終了します。
- ⑧手番プレイヤーを右隣に移し、再び③以降の手順を行います。

## 基本カードの種類- 1 -

ゲームでは以下の8種類、計60枚のカードを使用します。

**accord**

-調和- 20枚



白のaccordです。  
同色のカード5枚を手札にそろえることで、  
勝利となります。  
表向きに切った時に、特殊な効果は発動しません。

**accord**

-調和- 20枚



黒のaccordです。  
同色のカード5枚を手札にそろえることで、  
勝利となります。  
表向きに切った時に、特殊な効果は発動しません。

**chaos**

-混沌- 10枚



このカードのほかに、もう1枚chaosのカードを  
捨てることで、山札から2枚カードを引いた後、  
このカードを山札の1番上に置くことができます。

**hasard**

-偶然- 2枚



山札を三枚見て、好きな一枚を手札に加えた後、  
好きな順番で山札の下に戻します。

## 基本カードの種類- 2 -

**mantien**      -維持-      2枚



次のプレイヤーの順番をスキップします。

**hardi**      -大胆-      2枚



手札を全て山札に戻し、5枚のカードを引きます。

**conjecture**      -推測-      2枚



山札の上の4枚を見て、並び替えてからカードを1枚引きます。

**conseil**      -神託-      2枚



黒か白かを宣言します。  
次のプレイヤーは可能な限り、その色のaccordを  
捨札にしなければいけません。